

高等学校 令和8年度（3・4学年用） 教科 家庭 科目 保育基礎

教科：家庭 科目：保育基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年1組～3組三修制選択生徒 4学年1組～3組四修制選択生徒

教科担当者：（渡邊、糸井）

使用教科書：（教育図書 保育基礎 ようこそ、ともに育ちあう保育の世界へ）

教科 家庭 の目標：

【知識及び技能】人の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それに係る技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見だして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

科目 保育基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
保育の意義や方法、子どもの発達や生活の特徴および子どもの福祉と文化などについて体系的・系統的に身につけるようにする。	子どもを取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	子どもの健やかな発達を目指して学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1章 子どもの保育 【知識及び技能】 ・保育には子どもの生涯の人格形成の基礎を培う重要な意義があることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・保育者のあるべき姿とはどのようなものかを考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・保育の意義について自分自身が親や保護者になることを考えるなど自分の人生観と結び付けて考える。	・指導事項 保育の意義 保育の方法 保育の環境 ・教材 教科書 DVD ワークシート ・一人1台端末の活用 等 資料等の配布 課題などの提出 情報の収集	【知識・技能】 ・子どもの人格形成における保育の重要性を理解している。 ・保育における保護者や保育者の役割を理解している。 【思考・判断・表現】 ・子どもの保育の特徴や、保育者に求められる姿勢などについて要点をまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自身が保育者になることを想像しながら、子どもにとって適切な保育を行うために関わり方を工夫するなど積極的に取り組む姿勢が見られる。	○	○	○	6
	2章 子どもの発達 【知識及び技能】 ・生涯発達のために乳児期が大切であることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・家族・きょうだい・友だちなどの対人関係と社会性の発達について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・子どもの発達の個人差に配慮しながら、心身の発達を促すために保育者としてどのように接するとよいか考える。	・指導事項 子どもの発達の特徴 乳児期の発達 幼児期の発達 ・教材 教科書 DVD ワークシート 新生児人形 ・一人1台端末の活用 等 資料等の配布 課題などの提出 情報の収集	【知識・技能】 ・子どもの発達とは身体と心身の発達の相互に関連してなされていくことを理解している。 【思考・判断・表現】 ・月齢・年齢ごとの子どもの心身の発達の様子を理解したうえで、子どもの個人差を考慮した適切な関わり方を考察し、具体的に提案することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自身が保育者になることを想像しながら、子どもの心身のはたつを促し、子どもの気持ちに寄り添うにはどうかかわるべきかなど、主体的にとらえようとしている。	○	○	○	14
	3章 子どもの生活 【知識及び技能】 ・子どもを安全に擁護するポイントや注意点について知る。 ・基本的生活習慣と社会的生活習慣の違いを理解し、その具体的な内容について知る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・子どもを安全に養護する方法について考えることができる。 ・家庭や保育施設など身近な場所の危険について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・家庭や保育施設で起こりうる事故について、子どもの発達過程や生活の特徴をふまえながら考察し、子どもを危険から守るための具体的な方策を提案できる。	・指導事項 乳幼児期の生活の特徴と擁護 生活習慣の形成 健康管理と事故防止 ・教材 教科書 DVD ワークシート 造形表現用具 ・一人1台端末の活用 等 資料等の配布 課題などの提出 情報の収集	【知識・技能】 ・子どもの養護の必要性について理解しについて理解し、その発達段階に応じた適切な養護や、生活援助のための技術を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・家庭や保育施設で起こりうる事故について子どもの発達過程や成果物の特徴をふまえながら考察し、子どもを危険から守るための具体的な方策を提案することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自身が保育者になることを想像しながら、子どもたちの自由な生活を確保しつつ事故を防ぐにはどうしたらよいかなど、自分事として課題に取り組もうとしている。	○	○	○	12

2 学 期	<p>3章 子どもの生活</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもを安全に擁護するポイントや注意点について知る。</li> <li>・基本的な生活習慣と社会的な生活習慣の違いを理解し、その具体的な内容について知る。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもを安全に養護する方法について考えることができる。</li> <li>・家庭や保育施設など身近な場所の危険について考えることができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭や保育施設で起こりうる事故について、子どもの発達過程や生活の特徴をふまえながら考察し、子どもを危険から守るための具体的な方策を提案できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項 乳幼児期の生活の特徴と擁護 生活習慣の形成 健康管理と事故防止</li> <li>・教材 教科書 DVD ワークシート 造形表現用具 一人1台端末の活用 等</li> <li>・資料等の配布 課題などの提出 情報の収集</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの養護の必要性について理解しについて理解し、その発達段階に応じた適切な養護や、生活援助のための技術を身につけている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭や保育施設で起こりうる事故について子どもの発達過程や成果物の特徴をふまえながら考察し、子どもを危険から守るための具体的な方策を提案することができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自身が保育者になることを想像しながら、子どもたちの自由な生活を確保しつつ事故を防ぐにはどうしたらよいかなど、自分事として課題に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○	10
	<p>5章 子どもの文化</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの健やかな発達における遊びの重要性や意義を、おもちゃ作りなどの活動を通じて理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの遊びの内容や時間・場所・仲間などが近年の社会の変化の影響を受けて変容していることを知り、どのような課題があるか考える。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの遊びについての課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項 子どもの文化の意義 子どもの遊びと表現活動 子どもの文化を支える場</li> <li>・教材 教科書 DVD ワークシート 造形表現用具 一人1台端末の活用 等</li> <li>・資料等の配布 課題などの提出 情報の収集</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの健やかな発達が遊びによってもたらされることを理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おもちゃ作りなどの活動を通して、子どもが楽しく安全に遊ぶことができるように工夫することができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自身が保育者になることを想像しながら、子どもたちが楽しめるように積極的に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○	22
3 学 期	<p>4章 子どもの福祉</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが保護・養育される権利をもち、尊重されるべき存在であると認識されるまでの歴史を知る</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の児童観の変遷と、社会環境や法制度の仕組みについて理解する</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子供の福祉について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項 児童観の変遷 児童福祉の理念と関係法規・制度 子どもの福祉を支える場</li> <li>・教材 教科書 DVD ワークシート 一人1台端末の活用 等</li> <li>・資料等の配布 課題などの提出 情報の収集</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界・日本の児童観や子供の福祉の変遷の歴史が、現代の様々な法律や制度に生かされていることを理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童虐待や貧困など、具体的な問題を通じて子どもの福祉の必要性を考察し、自分の考えをまとめたり発表したりすることができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子供の福祉について自ら学び、保育に主体的かつ協動的に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○	14
	合計						78